

2018(平成30)年度  
学校法人麻生塾 事業報告書

2018年6月24日

## 学校法人麻生塾の建学の精神

### 「仕事を通じて社会に貢献」

麻生塾の沿革 麻生塾は1939年（昭和14年）3月31日、採鉱技術者を養成する目的をもって、福岡県飯塚市柏の森の麻生農園跡に誕生した。それは、個人商店として炭鉱事業を営んでいた組織を「株式会社麻生商店」として会社組織に変更した20周年を記念した、教育関係3事業のひとつだった。麻生塾は同社社長・麻生太賀吉氏（1911年～1980年）の、とりわけ深い思い入れをもって創設された。

麻生太賀吉氏は、少年時代に指導を仰いだ九州帝国大学教授の河村幹雄博士（地質学、1886年～1931年）の卓越した人格と学識に強い感化を受け、同博士の教育の理想を具現した学校設立を念願していた。河村博士は地質学者である一方、「教育の他に何者もなし」の信念のもと、教育者としても名高く、今日にも通じる多くの提言を残されている。

時代は太平洋戦争前夜、すでに中国と交戦状態にあり、日々戦時色が濃くなる中、石炭増産が強く叫ばれていた。

麻生塾の目的は、職業を通じて社会に奉仕する中堅産業人を育成することだった。麻生太賀吉氏は、どのような時代になっても人間教育が最も大事であることを、強い信念としていた。創設当時の新聞には「昭和の松陰塾」と報道された。

開校当初、麻生塾の修業年限は3年、これを学習2年、実習1年に分け、各学年とも1学級とした。河村博士の教育方針に徹して少数定員主義をとり、1学年の定員を20名以内とした。入学生は高等小学校卒業生を対象とし、生徒は全て寄宿舎に入る全寮制、学費は全額を支給するほか、社員見習いの資格で月々若干の手当ても支給されていた。

長い戦争が終わり、新生日本の六三三制教育の実施に伴い、1948年（昭和23年）3月、麻生塾は新制高校、麻生塾工業高等学校（採鉱科）として再スタートを切ることになった。学制は変わっても、「仕事を通じて社会に貢献」という建学の精神は、少数定員主義、全寮制、給費制とともに、戦後もそのまま堅持された。そして、その特異な校風は広く教育界に認められるところとなった。

## 2018(平成 30)年度 事業報告書・目次

I. 法人の概要	
1 沿革	… 5
2 設置する学校・学科	… 6
3 学校別入学定員、学生数等の状況	… 8
4 組織図	… 9
5 役員・評議員・教職員の概要	… 10
II. 事業の概要	
1 重点政策の推進	… 12
(1) 学生募集活動の強化	
①入試政策	
②入学状況	
(2) 就職・キャリア形成支援	
①就職支援策の実施	
②インターンシップの充実	
③外国人留学生への就職サポート	
④実績及びその他の活動	
(3) 教育の質向上	… 13
①教育の質保証のための機構整備	
②教員の資質向上	
③その他	
(4) グローバル推進	… 15
①外国人留学生の受入れ	
②海外留学の強化	
③セブ島語学学習	
④交流イベント	
⑤教職員におけるグローバル醸成	
⑥海外インターンシップ	
2 学校運営	… 16
(1) 運営組織	
①本部機能	
②各学校	
(2) 社会的責務への対応	
3 教育活動	… 17
(1) 学科の新設及び廃止	
(2) キャリア教育（グローバル シティズン・ベーシック教育：GCB 教育）	
①GCB 教育の概要	
②教育改善	… 18
(3) 研究関連活動	

4	学生支援	…	19
	(1) キャンパスライフサポートセンターの活動		
	(2) 学修支援のための奨学金		
5	教育環境の整備	…	20
	(1) 教育環境の整備状況		
6	社会貢献・地域貢献		
	(1) 活動状況		
	①次世代リーダー養成塾への担任派遣		
	②ボランティア活動		
7	事業領域の開拓	…	21
8	働きがい創生		

# I. 法人の概要

## 1 沿革

- 1939年（昭和14年） 麻生太賀吉、幹部社員育成のための完全無料の研修所「麻生塾」を設立。
- 1948年（昭和23年） 学制改革により麻生塾工業高等学校（1983年閉校）設立。
- 1980年（昭和55年） 麻生飯塚病院附属高等看護学院を学校法人麻生塾麻生飯塚看護専門学校に改称。
- 1986年（昭和61年） 麻生電子ビジネス専門学校 開校。
- 1989年（平成元年） 麻生飯塚看護専門学校を麻生医療福祉専門学校に改称。
- 1991年（平成3年） 専修学校麻生外語観光カレッジ 開校。
- 1996年（平成8年） 麻生法律専門学校、麻生医療福祉専門学校北九州校、麻生テクニカルデザインカレッジ 開校。
- 1997年（平成9年） 麻生医療福祉専門学校福岡校 開校。
- 1998年（平成10年） 麻生工科専門学校 開校。
- 2001年（平成13年） 麻生リハビリテーション専門学校開校。麻生テクニカルデザインカレッジを麻生電子ビジネス専門学校北九州校に改称。
- 2002年（平成14年） 麻生法律専門学校を麻生公務員専門学校に改称。  
麻生ビューティーカレッジ開校。
- 2003年（平成15年） 麻生電子ビジネス専門学校を麻生情報ビジネス専門学校に改称。  
麻生電子ビジネス専門学校北九州校を麻生情報ビジネス専門学校北九州校に改称。
- 2005年（平成17年） 麻生公務員専門学校福岡校 開校。麻生工科専門学校を麻生工科デザイン専門学校に改称。
- 2008年（平成20年） 専門学校麻生工科自動車大学校 開校。
- 2009年（平成21年） 麻生医療福祉専門学校を麻生看護医療専門学校に、専門学校麻生外語観光カレッジを麻生外語観光&製菓専門学校に、麻生工科デザイン専門学校を麻生建築&デザイン専門学校に、麻生医療福祉専門学校北九州校を専門学校麻生医療福祉&観光カレッジにそれぞれ改称。
- 2012年（平成24年） 麻生リハビリテーション専門学校、麻生看護医療専門学校をそれぞれ麻生リハビリテーション大学校、麻生看護大学校に改称。
- 2014年（平成26年） インドネシアの私立総合大学 BINUS 大学と提携し、インドネシアに共同で工学系の学部「Binus ASO School of Engineering」(BASE) を設立。
- 2018年（平成30年） ASO ポップカルチャー専門学校 開校

## 2 設置する学校・学科（2018年5月1日 現在）

### 麻生情報ビジネス専門学校

学 科 …… ネットワーク・セキュリティ科／ゲームクリエイタ科／  
情報システム専攻科／情報システム科／CGクリエイタ科／  
電子システム工学科／情報工学科／ゲームクリエイタ専攻科／  
漫画・アニメ科／Webクリエイタ科／経理科／  
情報ビジネス科／ビジネスエキスパート科／税理士専攻科／  
経営ビジネス科／経理専攻科／国際ビジネス科／  
日本語科（2年）／日本語科（1年6ヶ月）

### 麻生外語観光&製菓専門学校

学 科 …… エアライン科／エアポート科／ブライダル・ウェディング科／  
ホテル・リゾート科／トラベル科／海外ビジネス科／  
英語コミュニケーション科／製菓パティシエ科／国際貿易科／  
日本語科（1年）／日本語科（1年6月か月）

### 麻生建築&デザイン専門学校

学 科 …… 建築工学科／建築CAD科／インテリアデザイン科／  
ものづくり科／ビジュアルデザイン科／建築学科（昼）／  
建築学科（夜）／建築専攻科

### 麻生医療福祉専門学校 福岡校

学 科 …… 介護福祉科／ソーシャルワーカー科／診療情報管理士科／  
医療情報科／医療秘書科／こども未来学科／社会福祉科／  
福祉心理学科

### 麻生公務員専門学校 福岡校

学 科 …… 公務員専攻科／公務員総合科／公務員中上級専攻科／  
公務員中上級教養本科

### ASO ポップカルチャー専門学校

学 科 …… ゲーム・CG・アニメ専攻科／ゲーム・CG・アニメ科／  
マンガ・イラスト・CG科／マンガ専攻科

### 麻生情報ビジネス専門学校 北九州校

学 科 …… システムエンジニア科／ゲームクリエイタ科／コンピュータシステム科／  
オフィスビジネス科／CGデザイン科／CGクリエイタ科

**専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ**

学 科…………… 介護福祉科／医事スペシャリスト科／医療秘書科／  
エアライン科／ホテル・ブライダル科／こども保育科

**麻生公務員専門学校 北九州校**

学 科…………… 公務員専攻科／公務員総合科

**専修学校 麻生ビューティーカレッジ**

学 科…………… 美容科／ビューティースペシャリスト科

**専門学校 麻生工科自動車大学校**

学 科…………… 1級自動車整備科／2級自動車整備科／日本語科（2年）／  
日本語科（1年6月）／自動車工学・機械設計科

**専門学校 麻生リハビリテーション大学校**

学 科…………… 理学療法学科（昼間）／作業療法学科（昼間）／  
理学療法学科（夜間）／作業療法学科（夜間）／  
言語聴覚学科（昼間）

**専門学校 麻生看護大学校**

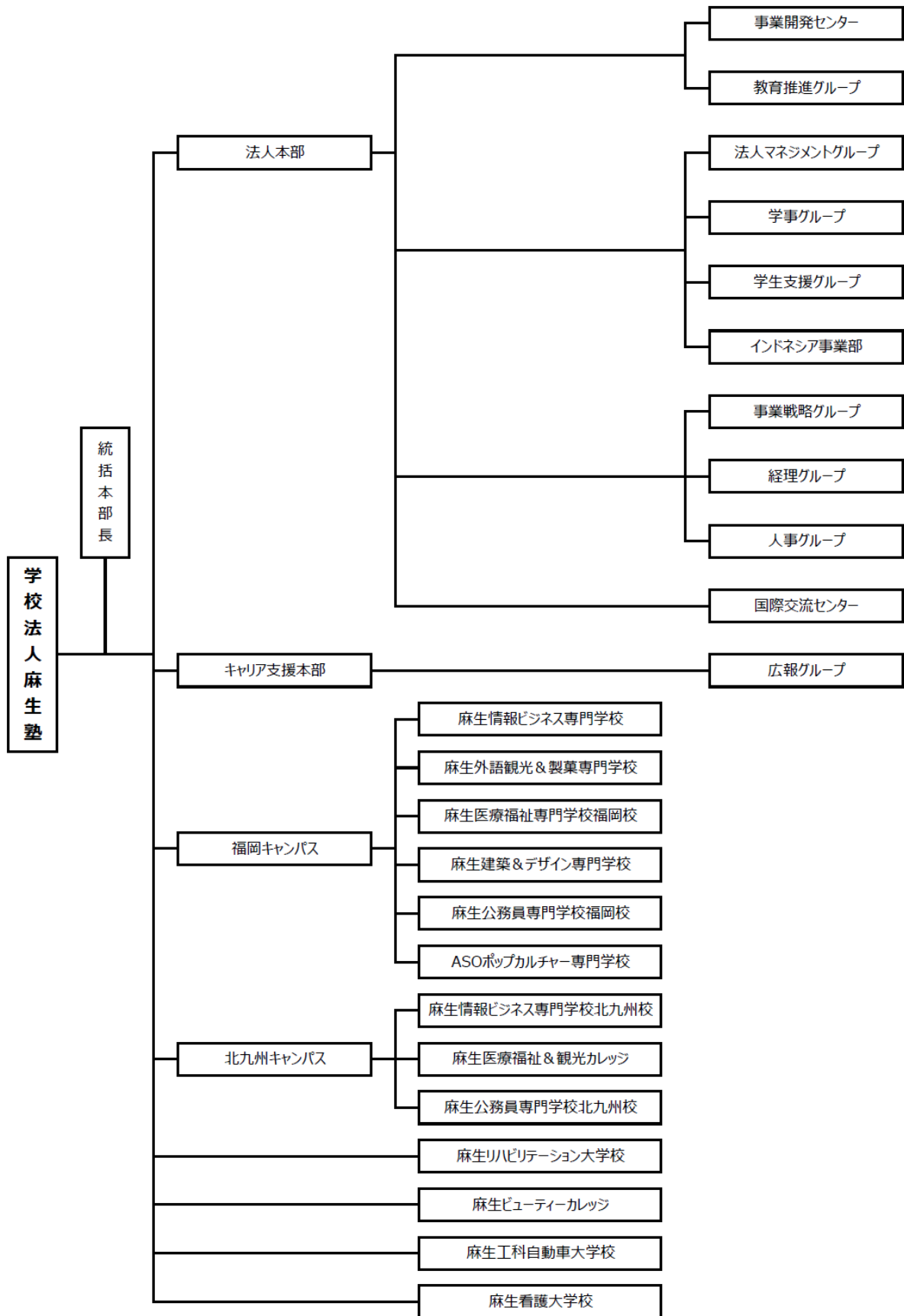
学 科…………… 看護科

### 3 学校別入学定員、学生数等の状況

学 校 名	入学定員	収容定員	在学生数
麻生情報ビジネス専門学校	670	1720	1033
麻生外語観光&製菓専門学校	480	930	683
麻生建築&デザイン専門学校	300	600	634
麻生医療福祉専門学校 福岡校	390	970	403
麻生公務員専門学校 福岡校	495	690	817
ASO ポップカルチャー専門学校	225	585	166
麻生情報ビジネス専門学校 北九州校	200	480	323
専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ	180	440	180
麻生公務員専門学校 北九州校	160	240	319
専修学校 麻生ビューティーカレッジ	156	356	153
専門学校 麻生工科自動車大学校	270	690	334
専門学校 麻生リハビリテーション大学校	240	800	587
専門学校 麻生看護大学校	60	180	187



4 組織図 (2018年度)



## 5 役員・評議員・教職員の概要（2018年5月1日 現在）

### (1) 理事・監事

役職名	氏 名
理事長	麻生 健
副理事長	古野 金廣
専務理事	森山 泰行
理 事	林 宏 治
	麻生 泰
	橋本 新平
	増本 陽秀
	瀧中 秀敏
	栗尾 城三郎
	柳 倫明
合計	11名（定数10名）
監 事	田上 智徳
	浦川 浩一
合計	2名（定数2名以上3名以内）

### (2) 評議員

評議員	麻生 泰
	古野 金廣
	林 宏 治
	植松 岳
	橋本 新平
	増本 陽秀
	龍 文明
	渡辺 博明
	外戸 隆
	古賀 康夫
	他 11名
合計	21名（定数20名以上22名以内）

### (3) 教職員

学 校 名	教員 (専任)	教員 (兼任)	職員 (専任)	職員 (兼任)
麻生情報ビジネス専門学校	49	71	4	36
麻生外語観光&製菓専門学校	34	73	3	
麻生建築&デザイン専門学校	22	62	2	
麻生医療福祉専門学校 福岡校	27	92	8	
麻生公務員専門学校 福岡校	26	16	2	
ASO ポップカルチャー専門学校	6	17	2	
麻生情報ビジネス専門学校 北九州校	15	22	2	2
専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ	13	60	5	2
麻生公務員専門学校 北九州校	11	6	5	1
専修学校 麻生ビューティーカレッジ	11	29	6	2
専門学校 麻生工科自動車大学校	22	32	8	
専門学校 麻生リハビリテーション大学校	33	83	8	1
専門学校 麻生看護大学校	10	114	17	1
法人本部			75	

## II. 事業の概要

2018年度に行われた学校法人及び設置学校における事業の概要は、次のとおりである。

### 1 重点施策の推進

法人及び設置学校の安定した経営基盤確立のために「重点施策」を4項目設定し、事業活動における各施策の推進に努めた。

重点施策の主な実績は以下の通りである。

#### (1) 学生募集活動の強化

##### ① 入試政策

意欲ある学生の安定的な確保の為、以下の募集活動を展開した。

ア 麻生塾ブランドの認知度向上を図る為、多様なニーズに対応した説明会を実施

##### ○ お仕事スタジアムの開催（14回目）

・職業理解を深めるため、将来の進路を考える上で約100職種のプロに様々な疑問や相談をすることができるイベントを実施した。

##### ○ 出張説明会（九州各県及び山口県にて開催）

##### ○ 公務員講座

##### ○ 高等学校の先生方向けの学校説明会

##### ○ 入学時のミスマッチを防ぐための学生、保護者との個別面談

##### ② 入学状況

学生募集については、18歳人口の低下の影響が大きく高等教育機関の全てにおいて、募集環境は厳しさを増している。

麻生専門学校グループは、これまで強みとしてきた就職力に加え、教育力を発信することで麻生専門学校グループの認知を高めることにより、入学者は全校で3,315名（通学課程および通信課程）となった。

#### (2) 就職・キャリア形成支援

学生に対する就職支援及びキャリア形成支援を推進することにより、学生の職業観の醸成及び職業に関する知識・技能を習得して主体的に進路を選択できる能力を育成し、社会で活躍し続ける人材を育成することを目的としている。

##### ① 就職支援策の実施

学生の就職活動支援は教務部門・就職部門で連携し、学生の属性・動態情報の共有を行い、管理職による担任フォロー、新人教員向けの就職研修会開催にて就職指導力の養成をおこない、よりきめ細やかでミスマッチのない就職支援を提供できる体制を整えている。

2018年度も「就職・進路ガイダンス」「面接対策講座」「各種業界研究」等を実施した。

##### ② インターンシップの充実

学生のキャリア形成の重要な要素として「学生の就職に対する満足度向上」及び「定着率の高い就職」を目標として定め、非就職年次から以下のインターン

シップを実施し、職業への憧れだけでなく実際に社会人として働くという意識を向上させた。

○ 実施しているインターンシップ

- ア インターンシップ（単位取得型）
- イ インターンシップ（企業実習型）
- ウ インターンシップ（自己開拓型）
- エ 業界セミナー
- オ 職種理解セミナー
- カ 企業実習前研修

③ 外国人留学生への就職サポート

日本国内で就労が可能となる様に就職支援を手厚く行った。

2018年度も、日本での就職活動の進め方を指導する多彩な取り組みを実施した。

- ア 留学生採用企業の求人開拓
- イ 日本での就職活動の基本的な進め方を指導する「就職・進路ガイダンス」
- ウ 面接指導
- エ 各種提出書類の記入指導
- オ 卒業生同席での説明会開催

④ 実績及びその他の活動

2018年も就職内定率「97.7%」と例年同様の高い実績を出すことができた。

また、「学生の就職に対する満足度向上」及び「定着率の高い就職」では以下の対策を実施し、求人内定につながると共に、学生・企業双方の満足度が高い求人内定機会を創り出し人材を通じた社会貢献を実現している。

- ア 入社後の教育・研修カリキュラムの共同開発を実施
- イ 卒業生による支援 キャリア勉強会や業界職種に関する実例をもとにしたセミナーを実施

### (3) 教育の質向上

教育の質向上にあたっては、教育の質保証のための機構整備と教員の資質向上について、教育戦略会議を中心に検討・実施した。

① 教育の質保証のための機構整備

教育の質を保証するための機構整備として、教育理念を踏まえた「卒業認定・学位授与の方針」（以下「DP」という）、「教育課程編成・実施の方針」（以下「CP」という）及び「入学者受入れの方針」（以下「AP」という）の三つのポリシーの見直しと、自己点検評価項目及び基準の見直しと内部監査体制強化に取り組んだ。

ア 三つのポリシーの見直し

質の高い教育を保証するためには、三つのポリシーの整備と、これらに基づき、「自らの教育理念の実現に向け、どのような学生を受け入れ求める能力をどのようなプログラムを通じて育成するか」という観点から、入学から卒業までの諸活動における一貫性を担保する必要がある。

そこで、上記の考えに基づき、外部環境の変化や社会的な要請を勘案して、各校の三つのポリシーの見直しを行い、必要に応じて再定義を実施した。

#### イ 自己点検評価項目及び基準の見直しと内部監査体制強化

2018年度は、教育の質保証に対する社会的要請などに鑑み、自己点検評価項目及び基準の見直しと内部監査体制強化に取り組んだ。

自己点検の評価項目及び基準については、学校法人全体として教育の質を保証する必要があるとの判断から、「文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン」及び私立専門学校等評価研究機構が提唱する「分野横断的な第三者評価基準モデル」に従って評価項目及び見直しを実施した。

また、内部監査体制強化については、より俯瞰的な点検を実施する為、推進委員会（全校的な自己点検・評価活動の推進を支援する）と実施委員会（各校、各部門において点検・評価及び改善を担う）の両委員会を設置して内部監査体制を強化することで、学校運営におけるPDCAサイクルが回るよう取り組んでいる。

### ② 教員の資質向上

教員の資質向上を実現するため、教員の資質可視化とこれを元にしたファカルティ・ディベロップメントの推進を行った。

#### ア 教員の資質可視化

教員の資質可視化を進めるにあたり、教員の資質を「専門力」・「教務力」・「人間力」の三つに分類した。

##### 【教育力の構成】

- ・専門力：担当教員の専門分野における知見やスキル
- ・教務力：授業設計や運営、学生指導などの能力
- ・人間力：社会人基礎力やGCBなどの理解・適用能力

2018年度は上記で定義した3つ能力のうち、「教務力」を重点項目として定義し、授業運営能力向上を図る為、学生や外部有識者、学校責任者などの多角的な視点から評価するための制度設計を行った。

#### イ ファカルティ・ディベロップメントの推進

本校教員に必要なコンピテンシーを定義し、これを充足するための学内講座を開設し受講を促すとともに、より高度な知識やスキルを必要とする場合は、外部研修への派遣も積極的に実施した。

### ③ その他

半期毎に教員の授業内容に関するアンケートを学生に対して実施した。

また、当該アンケート結果を元に、授業運営改善や教員の能力開発を行った。

ア 授業運営改善 カリキュラム、シラバス及び時間割の見直し

イ 期待度アンケート（新入生を対象）

ウ 満足度調査（卒業時）

#### (4) グローバル推進

2018年度も、世界に羽ばたき、社会と世界をリードする人材教育の実現を目指して、グローバル化に関する取り組みを積極的に推進した。

##### ① 外国人留学生の受入れ

麻生塾には、国際学生が学ぶ学科として「日本語科」「国際ビジネス科」「各専門課程」が設置されています。また、学ぶ為の進学支援として後期校納金相当額の免除の学費負担の軽減も実施している。

現在、麻生塾での外国人留学生の受入数は294名（日本語科：138名、国際ビジネス科：58名、各専門課程：98名）である。

##### ② 海外留学の強化

麻生塾では「グローバル社会に対応できる人材育成」に向け、全在校生を対象に海外留学のプログラムを提供している。プログラムは夏季・春季の長期休みを利用して参加する短期留学と、本校を1年間休学して参加する長期留学を実施している。

海外留学を目指している学生には、留学カウンセリング、奨学金制度、留学説明会・報告会など、多様な支援を実施しました。

海外送出し先としては、7ヵ国、11教育機関、留学生数61名（短期：46名、長期：15名）となっている。

###### ア 短期留学

夏季・春季合計で46名（夏：43名 / 春：3名）が参加。留学先はカナダ、イギリス、オーストラリア、フィリピン（セブ島）、ニュージーランドと多岐に渡っている。フィリピン（セブ島）には夏季18名が留学しており、渡航学生数No.1の国となっている。

###### イ 長期留学

15名の学生が長期留学に参加。留学先国としてはカナダが人気で、7名がカナダに留学をした。唯一のアジア圏であるマレーシア SUNWAY 大学には1名が留学した。日系企業の海外展開（特にASEAN）の増加に伴い、就職活動を意識しての留学先選びも進んでいる。

##### ③ セブ島語学学習

在校生の英語に対する興味喚起と異文化理解促進を目的に、麻生塾海外奨学生制度を2015年より開始。今年度で4回目の実施となった。麻生専門学校グループの内6校から8名の奨学生が選ばれ、フィリピン・セブ島に2週間滞在した。帰国後は報告会を実施した。セブ島での気付きに関する発表をおこない「日本での当たり前は海外では当たり前ではないこと」や「外国人との寮生活で感じた日本人の弱み」等を発表していた点を鑑みると、学生一人ひとりが日本という国を第三者として見つめる良い機会を創出できた。

##### ④ 交流イベント

###### ワールドカフェ

国際学生及び海外から短期研修生と日本人学生との異文化交流のための行事

として「ワールドカフェ」を年に数回実施した。国際学生等には日本をより深く知ってもらう機会を提供し、日本人学生にとっては日本にいながらにして外国人と交流することで日本以外の文化や慣習に触れることが可能になり日本人学生のグローバル化に寄与している。

⑤ 教職員におけるグローバル醸成

教職員におけるグローバル感覚の醸成の為、教職員自身がグローバルな視点を養えるよう取組みを実施している。

オックスフォード大学よりインターンシップ生を受入れての、職場案内や交流イベントを実施。今年度は総勢 46 名の教職員が参加し、英語での仕事内容説明やディスカッションを実施した。本交流は、学生にまで対象を広げ、今後も継続的に行っていく。

⑥ 海外インターンシップの受け入れ

2014 年 9 月より、インドネシアのビヌス大学（私立大学）と共同で運営を開始した 2 学部（BASE : BINUS ASO School of Engineering）の 3 年次修了者を対象に第 2 回のサマーコース（8/16-9/15）を実施し、33 名が来日した。

ソフトウェア CATIA を使った設計技術や旋盤等の大型加工機を使った実習等を受講すると共に関連分野での企業インターンシップを実施した。

## 2 学校運営

### （1）運営組織

組織体制としては 13 校の専門学校に加え、法人運営及び各校の運営をサポートする本部機能を有している。

① 本部機能

- |            |                                     |
|------------|-------------------------------------|
| ア 経営法人本部   | 法人経営及び各校の運営をサポート（新規事業の企画開発及び国際業務含む） |
| イ 教育支援本部   | 教育に関する質及びサービスの向上に関する業務、申請届出等の業務     |
| ウ キャリア支援本部 | 募集及び就職支援                            |

② 各学校

学校運営全般業務

### （2）社会的責務への対応

学校教育が及ぼす社会的責任の認識、保護者及び地域社会から信頼される組織としての法律や規制の遵守はもとより、教育活動の透明性、倫理、環境問題等へのより質の高い具体的な対応が求められている。

麻生塾では法令順守の重要性に鑑み、教育支援本部にリスクマネジメント担当者を配置し、対策を実施している。

① コンプライアンス（法令遵守）研修への参加後、法令順守の重要性を各部門へ発信を実施

② リスク、クレーム対応能力の醸成を図る為、外部リスク関連研修へ参加



- ③ リスクマネジメント部門の認知活動を実施
- ④ リスク事案発生した場合、リスク担当者と各責任者が共同して対応策改善活動を実施し、プロセスについて共有。
- ⑤ 甚大災害発生時（地震・火災）のマニュアルのブラッシュアップを実施し、Jアラート、自然災害時の教職員の安全確保体制の構築。

### 3 教育活動

#### (1) 学科の新設及び廃止

2018年度からの学科新設・廃止を次のとおり行った。

##### ① 学科の新設

近年、増加する留学生に対応する為、麻生情報ビジネス専門学校福岡校において国内において就労可能な能力を身に付ける「国際ビジネス科」を新たに開設した。

##### ② 学科の廃止

市場のニーズ低下により麻生外語&製菓専門学校の「国際貿易科」の募集停止を行った。

#### (2) キャリア教育（GCB 教育）

##### ① GCB 教育の概要

麻生専門学校グループの教育理念に沿った人材育成の一貫として位置付けられている独自のキャリア教育プログラムである。実社会にて、専門スキルを十分に発揮するため必要とされる社会人スキルと、その土台となる人間力の向上を目的とし、3段階の教育内容にて構成されている。教育目標は、麻生グループ90社（2018年4月1日現在）が掲げる人材「グローバルシティズン」（定義：世界が自立しながらも互いに協力し合うことで成り立っていることを認識し、恵まれた人生を過ごしていることに感謝し、地域・国家の発展に貢献する人）を育成像とし、GCB I・IIプログラムについては全学生が履修する。

##### ア GCB I

社会で生き抜く基盤を「感謝する心」として据え、自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築するコミュニケーションなどを学ぶ

##### イ GCB II

強い信念と共に公・社会を視野に入れ、具体的な行動目標（言語化・数値化）をもって努力を継続することで実現する「志」について考える

##### ウ GCB III（選抜方式）

グローバル社会における活躍人材や多様性を生かしたリーダーシップ、また組織力を高めるフォロワーシップなどを学内外の講師陣より学ぶ

## ② 教育改善

社会ニーズを鑑み毎年おこなう内容改訂にて、近年は、卒業後の早期離職を防止する目的で「粘り強さ」、「チャレンジ精神」等の充実を図ってきたが、加えて今年度は、社会人基礎力の向上を目指すものとして、「主体性」、「課題発見力」、「状況把握力」等についての内容を強化した。

特に GCBⅡ では、日常生活の振り返りや人生のロールモデルを探すことにより自らの「生きる姿勢」を学生同士の意見も共有しながら考えていくというプロセスを導入、立体的なプログラム編成をもって一部の学科にてモデル授業を実施した。今後は、教育効果の分析をおこなったうえで全校展開を図っていく。

また、昨今「成果を生む行動特性」として注目されているコンピテンシーを高めるべく、学生が個々の時点における社会人を自己把握できる指標(麻生塾ループリック)を「GCB が目指す能力」も織り込んだ形で設定し、成長の可視化ができるようにした。

GCBⅢでは、外部講師(18名)による講話や専門講義、常勤講師(6名)が担当するブラッシュアップ講義に加え、海外研修(タイ・バンコク、インドネシア・ジャカルタ)や国内合宿(山口・萩)等の体験により、自らの将来像を熟考する機会を多く得た。また、語学力の向上やダイバーシティに対応できるヒューマンスキルの必要性なども認識、当該プログラムを機に長期留学に向かう学生も2名出現し、一定の教育効果として捕捉している。

## (3) 研究関連活動

### ①公益社団法人 福岡県建築士会地域貢献活動

名称：博多駅前周辺における木の空間の実態調査

目的：博多駅前周辺の木の空間の特色を調査することで、都市の景観形成に貢献し、ひいては日本の林業や建築業界の振興に寄与する。

内容：主に博多駅前周辺等の都市部における国産材の利活用空間（インテリア・エクステリア建築等）場所やデザインの現状を調査し、地図を作成した。

### ②文部科学省および厚生労働省の委託事業の参加状況は下記のとおりである。

ア スマートコントラクトを使用したシステム開発人材の育成

イ 専門学校留学生の戦略的受け入れ推進事業

ウ 福島県ロボット産業の基盤となるドローン活用人材養成事業

エ 福島県地域啓蒙のためのソフトコンテンツ人材養成事業

オ 技術者学び直し講座のモデルとなる IT エンジニアを対象とした eラーニング講座開設およびガイドラインの実証

カ 札幌（北海道）をモデルとした地域創生のための IT 人材育成と企業連携推進

キ 農業分野のスマートワークを推進・実現する人材育成プログラム開発事業

- ク 専門学校による地域産業中核的人材育成事業  
『現場実践基礎力を有した保育士養成のための「保育現場での活動」のガイドライン作成事業』
- ケ 医療事務における効果的な連携事業を行うためのガイドラインを作成
- コ 介護福祉士を目指す外国人留学生等に対する相談支援等の体制整備事業
- サ 建設 I T 技術・次世代ニーズ事業
- シ 「建設分野における産学協同教育体制構築のためのガイドライン作成事業」
- ス 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」機動的な産学連携体制の整備「ゲーム・CG 分野中核的人材養成のための全国産学官連携協議会構築事業」
- セ 平成 30 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」  
地域を支える訪問リハビリテーション中核人材育成事業
- ソ 地域を支える訪問美容・介護美容中核人材育成事業
- タ 職業実践専門課程に係る取組の推進  
介護福祉士養成教育に特化した第三者評価項目に基づく各要請施設への評価実施とその成果実
- チ 教職員の資質能力向上の推進（教職員研修プログラムの構築）

#### 4 学生支援

##### (1) キャンパスライフサポートセンター設置

キャンパスライフサポートセンター学生相談の総合窓口としてキャンパスライフサポートセンターを設置し、学生が修学・就職活動の悩みを自ら乗り越え、入学目的を達成するためのサポートに取り組んでいる。

センター運営にあたっては、守秘義務を順守するとともに、個人情報保護管理規定に則って相談内容を適切に管理している。

##### ①実施内容

- ア 臨床心理士によるカウンセリング
- イ 担当者によるインテーク面談
- ウ 担当者によるキャリアコンサルティング

##### (2) 学修支援のための奨学金制度

将来有為な人材として期待される学生が修学に専念できる教育環境を整えるため、多様な能力を評価する奨学生制度を実施している。

## 5 教育環境の整備

### (1) 教育環境の整備状況

#### ① パソコン (PC) 教室、実習室の改修

ASO ポップカルチャー専門学校開校に合わせて、既存の PC 教室を移設し、新たな実習室の整備を行った。また、教育環境の充実を図る為、パソコンを一部 入れ替えた。

#### ② 学内ネットワーク、Wi-Fi 環境の整備

授業環境の変化に合わせ、学内の通信回線速度を増強した。また授業用 Wi-Fi、学生用フリーWi-Fi の接続方法を改善し、接続エリアの拡大し、回線速度を増強した。

#### ③ 福岡キャンパス食堂の改修工事

数年後に制度化される HASSP に対応した衛生管理機能を備えるため食堂を全面改修し、老朽化した厨房機器の入れ替えをおこなった。同時に学生満足度向上のため、運営体制を見直し、メニューや料金体系を一新した。

#### ④ 運動設備の拡充

麻生公務員専門学校内にあったトレーニングジムを福岡キャンパスの共有施設として移転拡充を図り、設備を一新した。多目的ホールを体育の授業にも使用できる様、懸垂やボルダリングができる体育館として改修を行った。

## 6 社会貢献・地域貢献

### (1) 活動状況

#### ①次世代リーダー養成塾への担任派遣

日本の次世代リーダー養成塾とは、経済界や地方自治体を中心となり、全国の志の高い高校生を対象に日本以外にも世界を舞台に挑戦する人材の育成を目指したサマースクールである。次世代リーダー塾では、従来の学校教育では実現できない、日本や世界を代表する様々な分野で活躍する一流の講師 (22 人) を招き、学問の楽しさ、人としての生き方がどうあるべきかを教える。

クラス担任は企業の中堅社員が務める。当該活動に麻生専門学校グループ参加している。今年度は全国から 191 名 (内アジアからの学生 16 名) の高校生が参加した。

#### ②ボランティア活動

##### ア 地域ボランティア活動

国家・地域社会に貢献する観点から、学生の人間的成長を促すため、学生の社会貢献・地域貢献活動 (ボランティア活動) を実施している。

活動内容： ・ 国立公園の植樹エリア整備活動  
・ 障害者支援施設の行事運営補助  
・ 豪雨災害被災地域の復興支援活動  
・ 交通マナー向上活動  
・ 性犯罪防止活動

- ・ 飲酒運動撲滅・暴力団追放運動
- ・ 地域緑化活動
- ・ 挨拶運動
- ・ 児童見守り活動
- ・ スポーツイベント参加など

#### イ 子ども食堂

子どもたちの心身の成長を図る為、地域社会と連携した「より良い居場所づくり」を行っている。

内容：地域の子どもたちに食事の提供 / 学習支援 / 東住吉小学校のボランティア参加

連携団体等：小学校 公民館 社会福祉協議会 一般企業

#### ウ 北九州高校生デザインコンテスト

絵を描くことが好きな高校生を対象にイラストへの興味・関心を高め、業界で活躍するプロの方から評価を得られる機会を提供している。

## 7 事業領域の開拓

### 産学連携「スタジオQ」設立

国内外で着実な成長が見込まれるアニメ市場において、高い技術力と実践力を有する人材を安定的に送り出すため、映像制作会社である「株式会社カラー」とネットワークエンタテインメントコンテンツの企画・開発などを手掛ける「株式会社ドワンゴ」と共同でCG制作会社の「プロジェクトスタジオQ」を設立した。

また、当該企業との連携授業やインターンシップ、本校教員との人的交流を実施することで、実践的な学習機会や優良な就職先の確保、教員の知識・技能の担保にも取り組んでいる。

## 8 働きがい創生

教職員一人ひとりが高い時間意識を持った働き方へ転換することを目的として下記の取り組みを実施している。

- ① 経営推進本部人事グループより労働時間削減や有給取得に関するメッセージの発信
- ② 長時間労働の制限と勤怠是正報告書の提出による抑止対策を実施
- ③ 労働時間に関する教職員への情報提供（残業時間・有給休暇取得状況）
- ④ 時間単位年次有給休暇制度を導入
- ⑤ ノー残業デーの設定
- ⑥ 学内保育園『ASOはぐみらい保育園』での育児サポートの情報提供  
働きやすい環境づくりとして、『ASOはぐみらい保育園』の運営を通じ、育児サポートしている。近年の育児休業取得率は100%を達成している。

以 上